

# 感染症 ひとくち情報

## 手足口病の報告数が増加しています!

2019年7月4日  
東京都健康安全研究センター

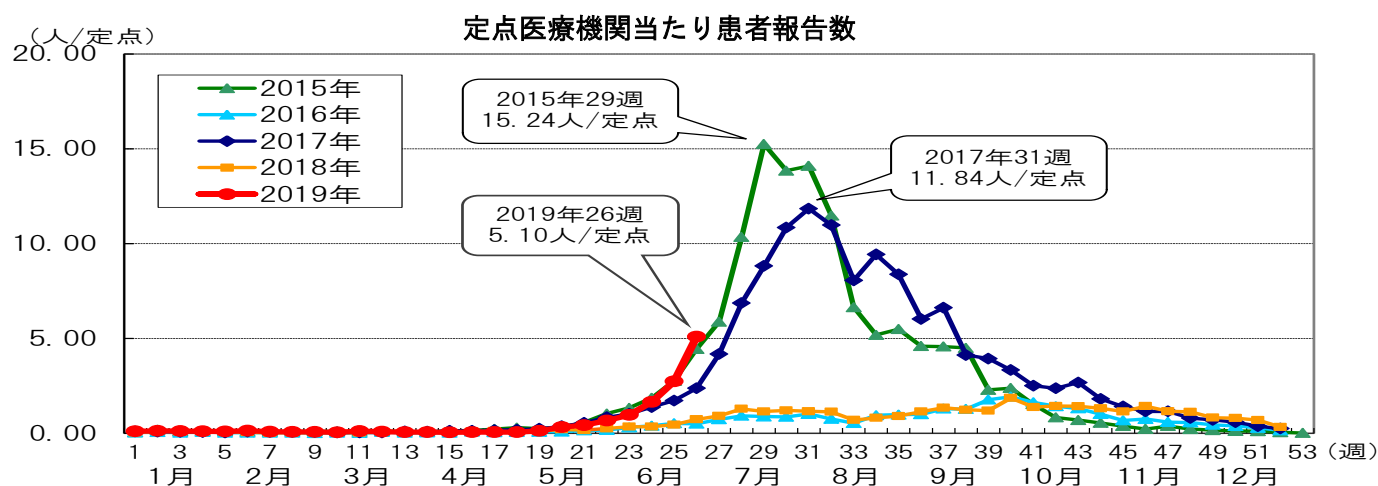
### 1. 手足口病とは

手足口病は、エンテロウイルス属のウイルスによって引き起こされる感染症で、5歳以下の乳幼児を中心に夏に流行する感染症です。主な症状は、口の中、手のひら、足の裏などにできる2~3mmの水疱性の発しんで、3~7日程度で消失します。その他には発熱、食欲不振、のどの痛みなどの症状がみられます。基本的に予後は良好ですが、合併症として稀に髄膜炎や脳炎を起こすこともあります。特別な治療法は無く、対症療法が中心になります。



### 2. 発生状況

2019年第26週(6月24日から30日)に都内小児科定点医療機関から報告された患者数は、5.10人(/週)で警報基準を超え、大きな流行となっています。



### 3. 感染経路

手足口病はウイルスが含まれた咳やくしゃみを吸い込んだり、手についたウイルスが口に入ったりすることで感染します。症状がおさまった後も、患者さんの便の中にはウイルスが含まれます(2~4週間)ので、トイレ使用時やオムツ交換の際には注意が必要です。

### 4. 予防について

感染予防には、こまめな手洗いが有効で、トイレの後やオムツ交換の後、食事の前には手洗いを心がけ、集団生活ではタオルの共有は避けましょう。また、咳やくしゃみをする時には口と鼻をティッシュ等でおおう等、咳エチケットを心がけましょう。

